

■2015年度JQAA総会



於 日本生産性本部
2015年4月21日 (火)

1. 開会の辞
2. 主催者挨拶
3. 会員数確認
4. 議長選出

<議案>

1号議案：2014年度活動報告および決算報告の承認

- ① 各部会活動成果
- ② JQACとの連携結果
- ③ 2014年度収支報告

2号議案：定款の改定

3号議案：2015年度活動計画と予算案の承認

- ① 活動基本方針
- ② 新組織体制
- ③ 各部会活動計画
- ④ 2015年度活動予算

4号議案：役員の選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員代表挨拶

2014年度活動経過報告と決算報告の承認

- ① 各部会活動成果
- ② JQACとの連携結果
- ③ 2014年度会計報告

アセッサー部会 2014年度成果

「部会方針：アセッサー個々人の資質向上を求め活動する」

■ アドバンスド・アセスメント・プログラムⅡ（マーケティング・9月～11月）

《計画・目標》 企業の強みとなるビジネスモデルを認識するための、現場型マーケティングの実際を3回に分割し学ぶ。→アセッサー、革新推進者を対象に下期開講を目指す

《成果》 9/13, 10/11, 11/8 の3日間午後開催で、14名参加を得て講座を完了。

《課題》 受講者からの声で、有意性を再確認した結果、来期の開催も展開計画として検討。

■ アドバンスド・アセスメント・プログラムⅢ（コンサルタント必須のフィードバックレポートの作成方法・2015年1月～3月）

《計画・目標》 《成果》 13年度AAPを短縮改善し3回/コースとする。アセッサー学習聴講者を新たに募集し、顧問の講義と演習形式のセミナーを開催する。

《成果》 1/10, 2/7, 3/7 の3日間で午後開催し、15名募集枠の内で、13名受講完了。

《課題》 認定審査員に加え一般参加を得たことも踏まえ、来期の開催も展開計画として検討。

■ 経験から学ぶ経営革新（創めるを始める）

《計画・目標》 13年度に作成したコンテンツで14年度冒頭から公演開催を行う。経営者やアセッサーを対象に、セミナー形式の共学の場を提供。

《成果》 実践研究会のメンバー対象に学習会「経験談から学ぶ経営革新」を1回開催(5/29)。

《課題》 入門コースとして協業対象としたが、入門の発展形コースとの関係が不明確のために保留中。今後JQAA単独開催の実践部会コンテンツとして再展開を図る。

実践研究部会 2014年度成果

注) 実践研究部会の成果報告は、第10期(2014/7月~2015/6月)の中間報告とします

■ 実践研究部会 (第10期)

《活動の目的》 ~JQA視点で 経営改革、組織改革の取り組みを考える!~

- 経営改革、組織改革に取り組む実務者の「課題解決支援」

《活動の方針》 ~自社取り組みを語り、他社取り組みに学ぶ!~

- 実践研究部会で課題を討議する! (課題解決の「気づきの場」)
- 「気づき」をその後の取り組みに活かす! (課題解決取組み「支援」)

《計画・成果》 ~2014年度活動計画と成果見込(第10期)~

- 開催〔計画〕・2014/7月~2015/6月 8~10回開催
〔成果〕・2014/7月~2015/6月 8回開催見込(3/E現在6回完)
- 人員〔計画〕・6名
〔成果〕・7名/7社
- 活動〔計画〕・「課題解決支援」に向けた新たな活動検討
〔成果〕・現場改革ベンチマーキング実施(2014/12月)
 - ・株式会社ウチダシステムズ様
 - ・発表者後のフォローアップ (1社/3名)
 - ・製品開発、ソフト経験理事が2回会社訪問。
ソフト開発投資と回収について個別討議

《今後の課題》 ・現場改革メンバー間の交流回数を増やす

■ JQAA講演会

《計画・目標、成果》

5回開催、一般参加者 平均25名 → 4回開催、平均16名

《その他の成果》

- アンケート評価：「とても良い」33～50%、「役立つ」：33～58%
- 事例2回、基礎理論解説1回、社会情勢解説1回とバランスのとれたテーマ内容で開催
- アセッサーOBへの告知開始⇒OB参加者 1/16：3名、2/12：3名

《課題》

- 信頼の確保：主体的運営（ミッション・運営プロセス明確化、時間管理、力量向上）
- インパクトのある題材（理論、事例）・講師の開拓と、訴求点PRの質向上
- 集客強化：アセッサーOB、地方協議会・非アセッサーへの働きかけ

■ セミナー『社員重視のマネジメント講座』

《計画・目標》

紹介セミナー：同一内容を複数回（6回予定）集中開催、計80名

基礎コース：4回＋フォロー1回 2クラス 計20名、応用コース：企画開発

《成果》

紹介セミナー：6回開催、70名

基礎コース：6回＋フォロー1回 1クラス 7名、応用コース：未実施

《課題》

より参加しやすいコースへの再編成、応用セミナー・Nextコンテンツの開発・実施

当初計画	成果
<p>①各部会コンテンツへの集客活動強化 (マーケティング)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • JQAA通信は、タイムリーに37回配信(前期30回/10ヶ月)。JQACとの連携で、配信先を現役2千6百名から、OB含む8千2百名へ11月に拡大するも、全体として集客目標達成に至らず。 • メルマガ登録者73名(年度始+24名)。 • ジャーナル在庫(14~21号)は、販売促進により 638→167冊へ大幅圧縮。最新22号はフォーラム・Webで192冊販売。
<p>②JQAA認知度向上に向けたWebサイトの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現行Webのレベルアップ(複数のイベントをトップ画面に一覧表示、問合せフォーム改良、運営委員メニュー新設等) • 抜本見直しを検討した(基本方針・計画策定、現行コンテンツの新Web移行可否洗い上げ、テスト環境構築、部会員スキル向上、予算策定等)。しかし、リニューアルは来期持ち越し。
<p>③JQAA運営体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 運営委員純増目標10名に対し、5名増(6増1減の計55名)。 • 運営委員(地方)との検討から、地方協議会推進者の座談会、地方協議会活動紹介、地方で革新に取り組む企業紹介を企画し、AJ22号へ掲載。地方の活動活性化に資する内容とした。

	計画/成果
①発行時期/ 発行部数	<p><計画> 2015年2月、500部</p> <p><実績> 顧客価値経営フォーラム (2015/2) で販売開始。初版印刷部数500部</p>
②編集方針/ 掲載記事	<p><計画> 「読みたくなる、買いたくなる！」 時機を得た特集、JQACと連動した啓発、JQAA活動報告、地域連携、受賞企業紹介等が基本</p> <p><実績> 座談会「地方から日本を元気にしよう」、各地方協議会からの取り組み企業の紹介 (15件)、受賞企業の活動 (3件)、JQAA講演会・セミナー記録 (3件)、JQAC活動紹介 等</p>
③収支	<p><計画> 費用 38万円、損益分岐点 380冊</p> <p><実績> 費用 68万円：費用増加により損益分岐点が高くなってしまいました。 販売部数192冊 (3月末現在)、売上高 (21号以前含む) 44万円</p>

- 大川幸弘JQAC事務局長の参画（JQAA副理事長として参画）
- JQAA通信の発信を認定セルフアセッサーOBまで拡大
- 講演会、セミナー会場として、日本生産性本部セミナー室を活用（生産性本部内価格）
- 同様に、理事会等打ち合わせ場所としても使用
- 顧客価値経営フォーラム会場でのジャーナル販売
- JQACおよびJQAAの諸活動に関する情報交換
- JQAC個人会員のJQAAセミナー参加制度の構築 等

2013年度会計報告（1）

収入（単位千円）	予算	実績	支出	予算	実績
アッセサー部会 セミナー 2コース	308,	894	アッセサー部会 講師代、会議室代 他	293	180
学習部会 セミナー・講演	1,368	547	学習部会 講師代、会議室代 他	1,245	521
実践研究部会	72	112	実践研究部会 会議室代 他	67	99
広報部会	0	0	広報部会 Web再開発、IT維持費用	400	24
チーム2 2PJ ジャーナル販売	400	443	チーム2 2PJ ジャーナル制作費、他	380,	677
その他		0	理事会／企画委員会等費 用 他	100	165
			総会費用	100	115
合計	2,148	1,996	合計	2,585	1,783
2013年度繰越金		900			
合計		2,896	2014年度繰越金		1,113

<残余資産>

合計 130,026円

内訳) PC : 17,836円、JQAジャーナル在庫 112,190円 (321冊分)

監査報告書


経営品質アセッサーフォーラム

理事長 校條 亮治 様

2015年 4月13日

監事

加藤 修明 

藤代 光洋 

2014年度会計監査

当監事は、経営品質アセッサーフォーラムの規約に基づき、
2014年度(期間:2014年4月1日から2015年3月31日)における、
同フォーラム活動に関わる会計報告書を監査した結果、会計処理は公正と
認められる手続きによって行われていることを確認いたしましたので、
その旨、監査報告いたします。

以上

定款の改定（資料参照）

- ① 改定の趣旨
- ② 改定内容について

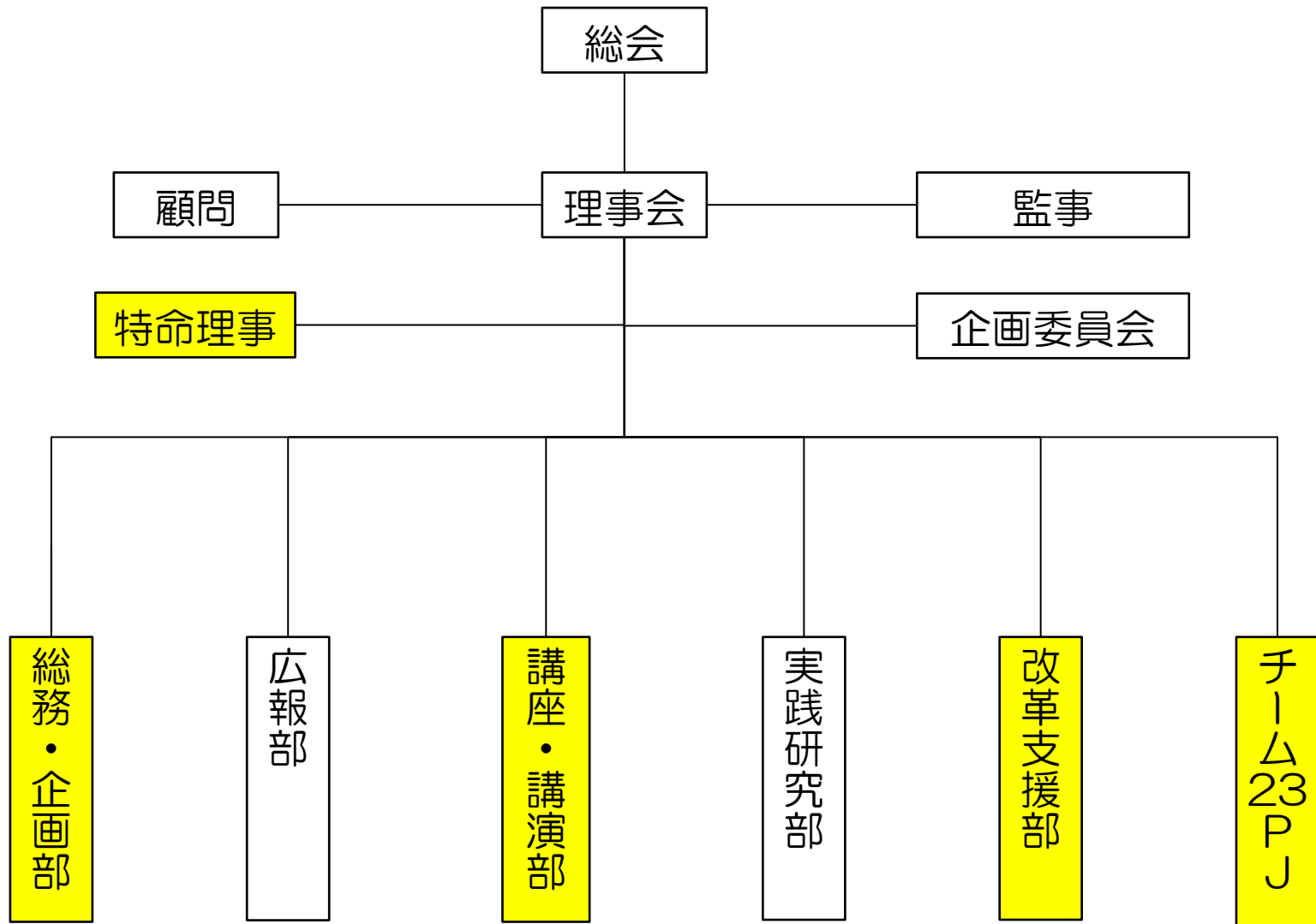
2015年度活動計画と予算案の承認

- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2015年度活動予算

ボランティア精神を大切にしながら、引き続き「NPO法人」
や「一般社団法人」に準じた体制強化に取り組んでいきます。

- ①活動範囲の変更
- ②組織力強化
- ③関係団体との連携強化
- ④人材育成

2015年度組織体制（案）



各組織概要（1）

名称	構成員	内容
総会	理事・運営委員	年1回の開催。①運営委員の除名②理事及び監事の専任または解任③事業報告及び収支計算書並びに正味財産増減書の承認④定款の変更⑤会の解散及び残余財産の処分⑥その他、理事会において必要と認められた事項⑦その他、法令に準ずる事項
理事会	理事	原則月1回。①JQAAの業務執行の決定②理事の職務執行の監督③理事長及び副理事長の選定及び解職④理事・運営委員より企画提案されたコンテンツの採用の可否
監事		①理事の職務執行の監査 ②監査報告書の作成
企画委員会	理事長、副理事長、部長	理事会の諮問機関（随時） 理事・運営委員より企画提案されたコンテンツ、理事会提案前の部会横断的課題、JQAA運営に関する企画立案等の協議
顧問		理事会の求めによる助言
特命理事	運営委員	理事会の承認により任命。特命事項担当（地域における活動支援等）

各組織概要 (2)

名称	構成員	内容
チーム 23PJ	理事・運営委員	アッセッサージャーナル23号の企画・作成
改革支援部	理事、運営委員	①アッセッサー資格者の活動の場づくり ②中小企業の改革支援活動を開始 ③地方・地協組織の活性化
実践研究部	理事、運営委員	5～6名の参加を単位とした経営革新実例に基づく研究会の開催・運営
講座・講演 部	理事、運営委員	①経営革新に役立つJQAAセミナー・講演の企画・開催 ②JQAAセミナー・講演向けオリジナルコンテンツの開発
広報部	理事、運営委員	①JQAA広報に資するJQAA通信等媒体を通じた情報発信 ②各部会の開催イベントへの集客につながるマーケティング ③運営委員拡大のための活動 ④顧客ならびに運営委員の情報管理
総務・企画 部	理事、運営委員	①会計管理 ②JQACとの連携促進 ③理事長指示に基づく特命事項の取り組み

2015年度各部活動計画

■ チーム方針

- (1) 読者視点に立った記事の収集と編集方針をお約束します。
- (2) 経営革新のヒントになる最新情報の掲載をお約束します。

■ 計画

- (1) 顧客価値経営フォーラムに合わせ発行する。
- (2) 増刊号の検討を行う（経営革新成功事例の独自記事収集）

■ 目標

- (1) 購読数の拡大（関係地協での教材化推進）
- (2) 収支バランスの改善

■ 特記事項

- (1) 現場の改革実践者の基本資料になることを目指す。
- (2) 単に経営革新の機関誌的位置づけからの脱却。

■ 基本方針

ボランティア精神を大切にしつつ、JQAAが事業団体として活動を開始するに際し、今期よりその中核組織として活動する。

■ 基本目的

- (1) アセッサー資格保有者の活動の場づくり
- (2) 中小企業現場の改革支援
- (3) 地方・地協組織の活性化支援

■ 当面の課題と活動

- (1) 0からのスタートであり認知向上に徹する。
- (2) 顧客開発に向けた営業活動に徹する。
- (3) 登録者の拡大を目指す。
- (4) 地方拠点づくりを目指す。
- (5) 主たる活動事務拠点の確保

■ 収支計画

- (1) 1～2年目は、基盤構築のため赤字予算。
- (2) 3年目以降、黒字化させる。

■ 方針

経営品質活動を組織の中で実践しているアセッサー仲間と連帯するグループ対話を通じてメンバ個々人が持ち寄る「課題解決を支援」する

■ 計画1) 実践研究活動 11期

活動期間 2015年07月～2016年6月(月度活動を8回開催予定)
募集人員 年間活動メンバーを6名程度
参加費用 年間費用 14,000円/人

■ 計画2) 研究報告会

開催予定 2015年12月および2016年6月を予定
研究報告会*¹ 計画1の実践研究活動および先進組織を事例学習する
募集予定 メンバ組織から18名程度を計画(費用別途、毎都度連絡)

■ 目標

活動内容 新たな活動事例を集める(事例: Before/Afterなど)
メンバ間で汎用化した学習コンテンツをつくる

■ 特記事項*¹

「体験談から学ぶ」の講演コンテンツを実践学習向け1講座程度、再編集。

■ 方針

- ・試行から飛躍へ～自立組織化に向けた、独自で質の高いコンテンツとプロセスの確立～

■ 計画

- ・JQAA講演会：信頼の確保（使命：参加者同士の交流による気づきの場をデザインする）
運営委員1テーマ2名体制、講演会担当者会議（毎月）
実施レポート：概要、Q&A、参加者の気づき、アンケート結果の通信・Web報告
- ・「社員重視のマネジメント講座」：内容充実、拡大、参加しやすいコース編成、伝道者育成
成果の把握と活用：アンケート、インタビュー調査とWebでの事例紹介
- ・「顧客本位講座」：開発・提供 ・独自能力、社会との調和講座の構想・探査 ⇒ 4本柱確立
- ・AAP（Advanced Assessment Program）：継続開催とNextの検討

■ 目標

- ・JQAA講演会：5回開催、一般参加者目標：各回平均20名
- ・「社員重視のマネジメント講座」
紹介：10回 80名、基礎：2コース 8名（3クラス制・各夜間2日間）、応用：1回 10名
但し、年度中間で実績を評価し、以降の実施を決定する
- ・「顧客本位コース」：開発・実施 紹介：4回 36名、基礎：1コース 8名（半日×7回）
- ・AAP：2コース（フィードバック、マーケティング）各10名（各半日×3回）

■ 特記事項

- ・バリューチェーンの創造：講演会 ⇒ セミナー ⇒ 現場改革支援 ⇒ ジャーナルでの事例紹介

■ 方針

- ① JQAAの提供価値・魅力を、経営革新を目指す方々へ適確に広報し、協創（共創）の場づくり、知識・知恵・情報を提供に努める。
- ② 各部コンテンツ（講演・講座・出版等）の集客・販売につながるマーケティングを展開する。またコンテンツの提供価値向上につながる提言、知恵だしを積極的に行いながら、各部会の集客・販売目標達成に向け協働する。
- ③ 常に、顧客視点の本質的なPDCAを回し、広報業務の成果・品質の向上を目指す。

■ 活動計画

- ①各部コンテンツに対する集客活動の強化【マーケティング】
告知の接点拡大・効果向上、関連団体（JQAC、地方協議会）との協力を通じ各部の集客目標、販売目標の達成支援
- ②JQAAの発信力強化に資するWEBの構築
Webリニューアルの実現
- ③JQAA運営体制の強化
特命理事との連携による地方での活動活性化

■ 方針

- ① 正確且つ透明性のある会計情報の提供に努めます。
- ② JQACとの関係強化、「NPO法人」もしくは「一般社団法人」への移行など、組織体強化に向けた企画検討を進めます。

■ 計画

- ① 各部の予算/実績の見える化の推進
- ② JQAC及びJQAC個人会員との連携・情報共有の強化
- ③ 「NPO法人」や「一般社団法人」化へのグランドスケジュールの検討

2015年度活動予算

収入 (単位千円)	金額	支出	金額	収支
改革支援部 登録料、 対話セッション参加費等	120	改革支援部 広報費、調 査費、他起ち上げ経費	500	▲380
講座・講演部① AAP	720	講座・講演部① 講師料、会議室代、他	393	327
講座・講演部② 講演会、社員重視、顧客本位講座	1,650	講座・講演部② 講師料、会場費、他	1,540	110
実践研究部 年間 6名程度・10回開催	112	実践研究部 会議室代、その他	102	10
広報部会	0	広報部会 Web再開発、IT維持費用	150	▲150
チーム23PJ ジャーナル販売	400	チーム23PJ ジャーナル制作費、他	400	0
その他	0	交通費等費用	150	▲150
		総会費用	150	▲150
合計	3,002	合計	3,385	▲383
2014年度繰越金	1,113			
合計	4,115	2015年度繰越金	730	

役員を選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員挨拶

役員の退任

下記役員退任に伴い、役員を選任を行いたい。

	氏名
理事	大川 幸弘
理事	新井 勉
理事	小楠 高弘
理事	吉川 博章
理事	久保田 秀子
理事	清水 光一郎
理事	末吉 進
理事	杉浦 正宣

	氏名
理事	瀬川 和彦
理事	中西 章生
理事	平井 嘉人
理事	平本 洋
理事	道添 順一
理事	校條 亮治
監事	藤代 光弘

役員候補

(敬称略 50音順)

	氏名
理事候補	大川 幸弘
理事候補	奥田 啓之
理事候補	加藤 友成
理事候補	吉川 博章
理事候補	久保田 秀子
理事候補	小林 慶久
理事候補	渋谷 照夫
理事候補	末吉 進

	氏名
理事候補	杉浦 正宣
理事候補	瀬川 和彦
理事候補	武谷 一寿
理事候補	中西 章生
理事候補	平本 洋
理事候補	道添 順一
理事候補	校條 亮治
監事候補	小楠 高弘

全ての議案は
賛成多数で承認されました。

2015年度役員体制

(敬称略 50音順)

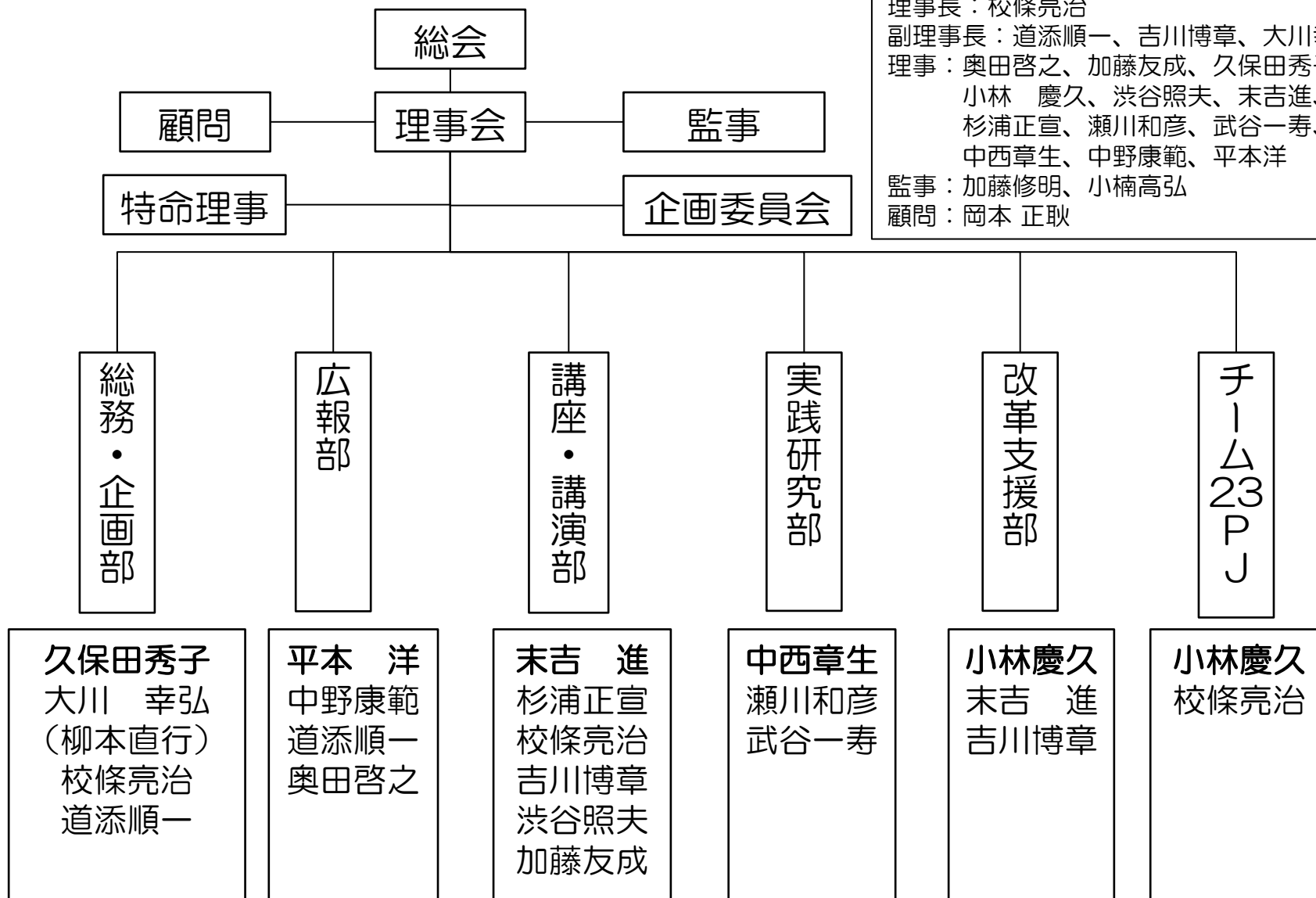
	氏名
理事	大川 幸弘
理事	奥田 啓之
理事	加藤 友成
理事	吉川 博章
理事	久保田 秀子
理事	小林 慶久
理事	渋谷 照夫
理事	末吉 進
理事	杉浦 正宣

	氏名
理事	瀬川 和彦
理事	武谷 一寿
理事	中野 康範
理事	中西 章生
理事	平本 洋
理事	道添 順一
理事	校條 亮治
監事	加藤修明
監事	小楠 高弘

2015年度 第1回理事会の決定事項

2015年度組織体制

第1回理事会で、3役及び各理事の所属を決定した。



第1回理事会で、下記の運営委員を特命理事として任命した。

	氏名
特命理事	三宅 邦之（茨城）
特命理事	新井 勉（埼玉）
特命理事	五味 由紀子（新潟）
特命理事	平井 嘉人（京都）
特命理事	畑 薫（兵庫）
特命理事	鑪野 秀康（宮崎）